

# 第60回 教育美術・佐武賞 応募要項

〈令和7年度〉

美術教育に関する実践研究  
(報告または論文)

「教育美術・佐武賞」は、公益財団法人教育美術振興会（当時：財団法人教育美術振興会）の初代理事長として、長い年月ひたすら美術教育の振興に心をくだき、生涯をかけて大きな力を尽くされた佐武林蔵先生（1886～1968）のご寄附によって、昭和41（1966）年に設立されました。

現場の先生方の実践に光をあてることにより、子供と共に作りあげた優れた授業を広め、指導者の育成と、図画工作・美術科教育の発展に貢献

することが本賞の狙いです。そして現場の先生方が日々の実践の悩みから見出した課題や、新学習指導要領の中から見つけた課題などを解決するために、どのような実践をしているかを大事にしています。

令和7年度で「教育美術・佐武賞」は第60回という節目の年を迎えます。本賞が契機となって学校現場における実践活動が活性化し、研究の輪が広がることを願っています。

橋本 光明（教育美術・佐武賞 担当理事 / 信州大学 名誉教授）

## ●応募の資格

全国の大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、保育所、特別支援学校並びにその他の機関での教育またはその研究に携わる者、または過去に携わっていた者。

## ●応募内容

美術教育に関する実践研究（報告または論文）

・未発表のものに限る。（学会誌、書籍、雑誌等で発表した同一のものは不可）

ただし関連した研究を他で発表している場合は、論文（報告）末尾に既出の発表媒体（学会誌、書籍等）との差異を明記する。

・共同、個人を問わない。

## ●執筆要領

表題、概要頁

・応募原稿の表紙として A4 縦長用紙 1 枚程度に下記の 4 点を横書きで記す。本文には含まない。

①表題（研究テーマ） ②勤務先・氏名 ③概要 800 字（40 字×20 行以内） ④目次

本文

・A4 縦長用紙、横書き、本文 1400 字（40 字×35 行）、10 枚以内とし、ページ番号を必ず付けること。

・注・図版・表等は、上記 10 枚の中に含めること。

・参考・引用文献は本文末尾に番号順に掲載し、本文に通し番号を付けること。

・図版（写真）・資料・表などは、1 ページに 1～2 点を目安とすること。

・図版（写真）等で著作権にかかわる使用料は応募者の負担とする。

・図版（写真）等は、著作権・肖像権の侵害のおそれがある状態での使用はしない。

## ●提出するもの

① 応募票 1 枚

② 表題、概要頁 1 部

③ 本文 1 部

※①②③は製本はせず、片面印刷で左上をクリップ留めにしてご提出ください。

応募票・過去受賞論文は

こちらからダウンロードできます

<https://www.kyoubi.or.jp/award.html>



## ●宛先（提出先）

〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-20-16 サクラ東京ビル

公益財団法人教育美術振興会 教育美術・佐武賞事務局宛

## ●賞

教育美術・佐武賞 賞状と副賞（賞金 20 万円）

上記の他に、佳作賞（賞金 5 万円）、奨励賞（賞金 3 万円）を贈る場合もある。

## ●結果発表

・月刊『教育美術』8 月号に受賞者の実践研究を掲載するとともに、受賞者に直接通知する。

・贈賞式は 2025 年 7 月下旬～8 月下旬に行う予定。

## ●著作権

公益財団法人教育美術振興会に帰属する。ただし、著者は私的使用の範囲を超えて利用しても差し支えない。

## ●その他

・教育美術・佐武賞並びに佳作賞となった応募原稿は返却しない。

・受賞論文は順次当会ホームページ「過去受賞論文」に掲載する。

・執筆要領に反したものは選考の対象としない。

## ●締め切り

2025 年 3 月 31 日（月） 当日消印有効

## 《第60回 ゲスト選考委員》

守屋 正彦（山梨県立博物館 館長）

東京教育大学大学院修了、博士（芸術学）。筑波大学名誉教授、太田記念美術館理事。山梨県立美術館学芸課長を経て、筑波大学教授。2018 年に館長に就任。研究分野は武家肖像画や垂迹画などの日本近世美術史で、特に日本・東洋における儒教美術・礼拝空間についての論考が多い。主な著書に『すぐわかる日本の仏教美術 改訂版』（東京美術、2010）、『すぐわかる日本の仏教美術 改訂版』（東京美術、2012）、『近世武家肖像画の研究』（勉誠出版、2002）などがある。

## 《選考委員》（五十音順）

|        |                |
|--------|----------------|
| 小松 佳代子 | 長岡造形大学 教授      |
| 佐藤 昌彦  | 福島学院大学短期大学部 教授 |
| 長田 謙一  | 東京都立大学 客員教授    |
| 東良 雅人  | 京都市立芸術大学 客員教授  |
| 横内 克之  | 東京学芸大学 非常勤講師   |

## 【提出先・お問合せ】公益財団法人 教育美術振興会 教育美術・佐武賞事務局

〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-20-16 サクラ東京ビル TEL.03-3862-3931（平日9:00～17:00）

佐武賞ホームページ <https://www.kyoubi.or.jp/award.html>

# 第60回「教育美術・佐武賞」 実践研究(報告または論文)募集！

「第60回 教育美術・佐武賞」の応募に際し、第59回選考委員から、実践研究に取り組まれている先生方へ、熱いメッセージをいただきました。  
たくさんのご応募を、心よりお待ちしております。



【教育美術・佐武賞 担当理事】

橋本 光明 先生  
信州大学 名誉教授

シンプルな授業に改善のヒントがあります。子どもの学びの事実からまとめましょう。通称“佐武賞”受賞文が、月刊誌『教育美術』やWebで全国に発信されます。



【教育美術・佐武賞 第59回選考委員】

直江 俊雄 先生  
筑波大学 芸術系教授

全国の教師の仲間たちに「さあ、子どもたちと、新しい美術教育の実践に挑戦しよう！」という情熱を湧き立たせるもの、それが佐武賞だと思います。



【教育美術・佐武賞 第59回選考委員】

佐藤 昌彦 先生  
福島学院大学短期大学部 教授

教育現場の問題を自分で発見し、その解決策を自分で提示する。そうした現場の力は日本の教育や社会をよりよくするための原動力です。



【教育美術・佐武賞 第59回選考委員】

東良 雅人 先生  
京都市立芸術大学 客員教授

教育美術・佐武賞が求めているのは、何か特別な実践ではなく、日々、一生懸命に子供たちの学びに寄り添ってられる全ての先生の姿なのです！



【教育美術・佐武賞 第59回選考委員】

鷹野 晃 先生  
山梨県北杜市立明野中学校 元校長

目の前に子どもがいて、実践は動き出す。お届けください、かけがえない子どもの、そして先生のその輝きを！



【教育美術・佐武賞 第59回選考委員】

細谷 僚一 先生  
京都デザイン&テクノロジー専門学校 校長

授業改善を目指し、自らの実践を振り返り記録やまとめをされている先生方、是非とも佐武賞にチャレンジしてください。

提出日： 年 月 日

## 第 60 回 教育美術・佐武賞 応募票

### 【研究テーマ、概要等】

□応募原稿の表紙として A4 縦長用紙 1 枚に下記の 4 点を横書きで記す。

①研究テーマ ②勤務先・氏名 ③概要 800 字（40 字×20 行以内） ④目次

### 【応募原稿の規程】

□A4 縦長用紙、横書き、本文 1400 字（40 字×35 行）、10 枚以内とし、ページ番号を必ず付けること。

□注・図版・表等は、上記 10 枚の中に含める。

□参考・引用文献は本文末尾に番号順に掲載し、本文に通し番号を付けること。

□図版（写真）資料・表などは、1 ページに 1～2 点を目安とする。

□図版（写真）等で著作権にかかわる使用料は応募者の負担とする。

□図版（写真）等は、著作権・肖像権の侵害のおそれがある状態での使用はしない。

私は上記要項に同意して申し込みます。

|                                      |                                                                          |      |      |               |  |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|------|------|---------------|--|
| 表題<br>(研究テーマ)                        |                                                                          |      |      |               |  |
| 共同・個人                                | <input type="checkbox"/> 共同 <input type="checkbox"/> 個人 (いずれかに✓をいれてください) |      |      |               |  |
| 執筆者氏名<br>(共同の場合は主著者)                 | ふりがな                                                                     |      | 生年月日 | 年 月 日<br>( 歳) |  |
| 出身校<br>(最終学歴)                        |                                                                          |      |      |               |  |
| 勤務先／<br>所属                           | 学校名                                                                      | ふりがな |      | 職名            |  |
|                                      | 住所                                                                       | 〒    |      |               |  |
|                                      | TEL                                                                      |      |      |               |  |
| 自宅<br>(連絡先)                          | 住所                                                                       | 〒    |      |               |  |
|                                      | TEL                                                                      |      | Eメール |               |  |
| 関連した研究を他で発表している場合、発表年、研究会名及び研究テーマを明記 |                                                                          |      |      |               |  |
| 過去に教育美術・佐武賞に応募したことがある場合、応募年を明記       |                                                                          |      |      |               |  |
| ※共同執筆者、研究協力者などがいる場合は、以下にお名前、所属先を明記   |                                                                          |      |      |               |  |